



2022年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年8月5日

上場会社名 株式会社ゲームカード・ジョイコホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 6249 URL <https://www.gamecard-joyco.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 蒔田 穂高
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 原 明彦 (TEL) 03-6803-0301
 四半期報告書提出予定日 2021年8月16日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第1四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	2,616	20.6	316	—	384	858.1	142	—
2021年3月期第1四半期	2,169	△46.4	20	△97.2	40	△94.5	1	△99.7

(注) 包括利益 2022年3月期第1四半期 136百万円(—%) 2021年3月期第1四半期 △67百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第1四半期	10.65	—
2021年3月期第1四半期	0.07	—

(注) 2022年3月期第1四半期の営業利益、四半期純利益対前年同四半期増減率は1000%を超えるため、「—」と記載しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第1四半期	46,989	40,879	87.0
2021年3月期	46,736	40,147	85.9

(参考) 自己資本 2022年3月期第1四半期 40,879百万円 2021年3月期 40,147百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	17.50	—	17.50	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	10,000	△5.3	0	—	0	—	0	—

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 有
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 1社(社名) 株式会社ジョイコシステムズ

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更)」をご覧ください。

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期1Q	14,263,000株	2021年3月期	14,263,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期1Q	923,212株	2021年3月期	923,212株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期1Q	13,339,788株	2021年3月期1Q	13,912,849株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い3度目の緊急事態宣言が発令されることとなり、厳しい状況で推移いたしました。

ワクチン接種率の増加や、オリンピックの開催などにより、経済活動持ち直しの期待が持たれるものの、足元での感染者増加など、依然として予断を許さない状況が続いております。

当社グループの主な顧客先であるパチンコホールにおいても、引き続き先行き不透明な状況から、設備投資に対して慎重な姿勢が続いているものの、前年第1四半期に出された緊急事態宣言に伴うパチンコホールに対しての休業要請もなく、当第1四半期においては前年同期比で増収増益となりました。

当第1四半期連結累計期間における売上高は2,616百万円（前年同四半期比20.6%増）、営業利益は316百万円（同一%増）、経常利益は384百万円（同858.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は142百万円（同一%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(総資産)

当第1四半期連結会計期間末の総資産は46,989百万円となり、前連結会計年度末と比較し253百万円増加いたしました。

これは主に、受取手形及び売掛金が347百万円、投資有価証券が505百万円減少した一方で、流動資産のその他（主に未収入金）が897百万円、投資その他の資産のその他が641百万円増加したことによるものであります。

(負債)

負債合計は6,110百万円となり、前連結会計年度末と比較し478百万円減少いたしました。

これは主に流動負債のその他が444百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

純資産合計は40,879百万円となり、前連結会計年度末と比較し731百万円増加いたしました。

これは主に、利益剰余金が803百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年5月14日付「2021年3月期 決算短信」にて公表いたしました通期の連結業績予想につきましては、現時点において変更しておりません。今後、修正が必要となった場合には、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,452	7,261
受取手形及び売掛金	861	513
営業未収入金	392	345
有価証券	18,399	18,399
供託金	4,090	4,142
商品及び製品	2,092	2,017
原材料及び貯蔵品	204	178
その他	734	1,631
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	34,228	34,490
固定資産		
有形固定資産	367	341
無形固定資産	2,372	2,251
投資その他の資産		
投資有価証券	8,975	8,469
その他	835	1,477
貸倒引当金	△42	△39
投資その他の資産合計	9,768	9,907
固定資産合計	12,507	12,499
資産合計	46,736	46,989
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	652	629
営業未払金	5	7
未払法人税等	308	268
引当金	195	277
その他	2,789	2,345
流動負債合計	3,952	3,528
固定負債		
引当金	55	27
退職給付に係る負債	417	432
その他	2,163	2,121
固定負債合計	2,636	2,582
負債合計	6,588	6,110

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2021年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,500	5,500
資本剰余金	5,122	5,055
利益剰余金	30,652	31,456
自己株式	△1,125	△1,125
株主資本合計	40,149	40,886
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1	△7
その他の包括利益累計額合計	△1	△7
純資産合計	40,147	40,879
負債純資産合計	46,736	46,989

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年6月30日)
売上高	2,169	2,616
売上原価	1,236	1,311
売上総利益	933	1,304
販売費及び一般管理費	913	987
営業利益	20	316
営業外収益		
受取利息	11	17
受取配当金	7	8
投資有価証券売却益	—	38
その他	2	4
営業外収益合計	21	69
営業外費用		
支払利息	1	1
その他	0	0
営業外費用合計	1	1
経常利益	40	384
税金等調整前四半期純利益	40	384
法人税等	39	242
四半期純利益	1	142
親会社株主に帰属する四半期純利益	1	142

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)
四半期純利益	1	142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△68	△5
その他の包括利益合計	△68	△5
四半期包括利益	△67	136
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△67	136

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(会計方針の変更)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は34百万円減少、販売費及び一般管理費は2百万円減少、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益はそれぞれ32百万円減少しております。また、利益剰余金の当期首残高は828百万円増加しております。

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。